

C型肝炎に対するソホスブビル/ベルパタスビル治療の  
有用性に関する北関東多施設共同研究  
－後向き研究－

当院の研究責任者	上原慶太（内科部長） 小池健郎（消化器内科医長）
他の研究機関および 各施設の研究責任者	森本直樹（自治医科大学消化器内科准教授）
本研究の目的	C型肝炎ウイルス（HCV）感染が慢性化すると肝硬変へ進行し高率に肝細胞癌が発症する。わが国肝硬変患者の55%、肝細胞癌患者の65%はC型肝炎が原因である。この研究では、保険収載された治療薬ソホスブビル/ベルパタスビル治療（エプクルーサ配合錠®）の有効性と安全性を明らかにすることを目的とする。
研究期間ならびに 研究対象となる期間	研究期間は許可されてから2021年12月31日までであり、調査データ該当期間は2019年2月26日から2019年4月30日までである。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象患者</p> <p>2019年2月26日から2019年4月30日までに当院でC型肝炎似たしいてソホスブビル/ベルパタスビル（エプクルーサ配合錠®）による治療を受けた患者。</p> <p>●利用情報</p> <p>診療記録情報を集め、ウイルス排除の成功率や成否に関わる条件および治療前後の血液検査、画像検査（MRI検査、CT検査、腹部超音波検査）、上部内視鏡検査、肝性脳症の状態、生活の質（QOL）の変化を調べる。</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供	多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へ提供する。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者を直接特定できる個人情報は削除致す。研究成果は学会等で発表を予定しているが、その際も患者を特定できる個人情報は利用しない。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：028-622-5241(代) 栃木医療センター 担当者：上原慶太 小池健郎